

## 大人の道德教育とは

—宇都宮市教育委員会生涯教育センターで考える—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：「大人の道德教育」の授業を行ったそうですね。

A：(林明夫：以下省略)宇都宮市教育委員会からの依頼で、6月23日と7月6日の2日間、宇都宮市生涯教育センターを会場に午前10時から正午までの2時間、「先人の生き方に学ぶ大人の道德教育」をメインテーマに、「人間力を高めるヒント、論語ブームを考える」をサブテーマとしてお話をしました。

Q：具体的にはどのような依頼があったのですか。

A：林さんはあちこちで「論語」の素晴らしさを語っているので、その具体的な内容をわかりやすく説明するようにとの依頼でした。

それなら私は漢文の専門家ではないので、高校や大学の漢文の先生にお頼みになったらと一度はお断りしたのですが、栃木県社会教育委員としてお話するようにとのことでしたので、やむなくお引き受けしました。

Q：受講生は何人ぐらいでしたか。

A：20名の募集でしたが、論語ブームが原因してか、NPOや様々な社会的活動をしておられる30代～80代までの60名が御熱心に御参加になりました。

Q：何を講義したのですか。

A：中世における儒教教育の学問的中心でもあった「足利学校」の事務所で発行している須永美知夫著「論語抄」をメインテキストとして全員にお配りした上で、吉田賢抗著「論語」新釈漢文体系、明治書院刊はじめ10数冊の「論語」の本を用いてことばの意味を確かめながら、拙いものですが2か月ぐらいかけてノートにまとめ、講義に臨みました。

吉田先生のテキストによれば、「論語」は499章あります。その1章1章の文章は短くても、さすが2000年以上の歴史に耐えてきた含蓄のある文章ばかりであることが、久しぶりに全文を読み通してよくわかりました。

Q：林さんにとって印象深い論語の文は何ですか。

A：たくさんありすぎて困るくらいです。1つは、最後から2番の498章の中に出てくる「教えずして殺す。之を虐(ぎゃく)と謂(い)ふ。」です。「道德教育もしないで、つまり、教育を怠って、人々に為すべきことと、為すべからざることを教えないで、罪を犯したからといってこれを死刑にするのは酷(むご)い。」という意味だと考えます。

2 つ目は、第 4 章の有名な「三省」の教えです。「日に三たび吾が身を省みる。人の為に謀(は)かりて忠(ちゅう)ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。習(なら)わざるを伝(つと)うるか。」。特に最後の「習わざるを伝うるか」つまり「まだ自分の知識として完全に消化されていない事がらを、他人に教え伝えはしなかつただろうか」(須永美知夫訳)が一番胸にこたえ、この章を読むたびに、あまりの勉強不足にいたたまれなくなります。

3 つ目は、何回読んでも常に印象深く新鮮な第 1 章の「学びて時に之を習う、亦(ま)た説(よろこ)ばしからずや」(学問をして、その学んだところを、復習できる機会を逃さずに、何回も何回も、くり返して復習すると、学んだところのものは、自分の真の知識として完全に消化され、体得される。これはまた、なんと喜ばしいことではないか。)(須永美知夫訳)です。

「学習」塾を経営する者の一人として、学ぶことの意味、習うことの意味、とりわけ一度理解したことをどのように身に付け定着させるかという学び方についての孔子の教えは、毎日を省みる上で大切にしたい教えと考えます。

**Q：受講者の評判はどうでしたか。**

A：寛容な方が多く、大旨好評だったようですが、第 1 回目のアンケートには、素読をやって下さいと希望がありましたので、第 2 回目には大きな声で素読をしたら皆様に喜んで頂けました。論語には素読が一番合っているようですね。

**Q：学習塾・予備校・私立学校の経営者や幹部、先生方にお伝えしたいことはありますか。**

A：高等学校で「漢文」や「倫理」、「地学」を本格的に教えない学校が多いと聞き及びます。

道徳教育や規範教育の重要性を叫ぶなら、小学校から高校まで少しずつでも「論語」を教えたほうがよいと私は考えます。

高校を卒業後、8 割近くの生徒が大学や短大、専門学校などの高等教育機関に進学するのなら、高等教育の前提となる高校での教養教育のゴールである「倫理」はきちんとカリキュラムを策定した上で、教育を施すべきであります。東京大学等の入学が秋になるのなら、大学入試が終わってから大学入学までの数か月間、高校の責任として「倫理」を教えてから、教え子を大学に送るべきと確信します。

3.11 東日本大震災、大津波、原発事故、放射能被害を克服し、東日本復興、日本再生を果たすことを考えるのなら、高校での「地学」は復活すべきであります。

「漢文」「倫理」「地学」をはじめ、高校で学ぶべきことを高校 1 年生の 4 月 1 日から高校 3 年生の 3 月 31 日までびっちり学んだ上で、8 月～ 9 月に大学入試を行い、10 月に大学入学を行うのであれば、東京大学の秋入学は一つの見識と高く評価させていただきます。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：皆様の教え子である児童・生徒の大半が進学を希望する大学が、現在抱える課題は何か。最新の動向を知るために、IDE 大学協会が毎月 1 日に発行する「IDE 現代の高等教育」の定期購読をお勧めします。(www.ide-web.net で申し込みます。)IDE は、会の英文名称である Institute for Development of Higher Education の頭文字です。ちなみに、7 月号は「大学院の危機」、8・9 月号は「質保障の新段階」がテーマです。購読会員はセミナーにも参加できます。是非、毎月、御熱読を。

— 2011 年 7 月 19 日記す —